

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 東海地区中学校体育大会負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 部活動改革係 電話番号：058-272-1111(内8717)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

730 千円 (前年度予算額：

730 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	730	0	0	0	0	0	0	0	730
要求額	730	0	0	0	0	0	0	0	730
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

毎年開催される東海中学校総合体育大会の円滑な運営を図るため、大会に要する経費の一部を負担する。

(2) 事業内容

一部の競技を除いて、全国大会の予選会を兼ねる、本大会の運営経費の一部を負担する。

<大会開催期日> 8月上旬の5日間

<開催種目> 陸上競技他15競技

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県負担：定額
- ・東海4県（岐阜・愛知・静岡・三重）で同額を負担しており、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	730	大会経費の一部負担
合計	730	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例11条
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画
- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策IV 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
2.4 文化芸術やスポーツなどの才能や個性を伸ばす機会の充実

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	東海地区中学校体育大会負担金
補助事業者（団体）	東海中学校体育連盟 (理由) 大会開催者であるため
補助事業の概要	(目的) 每年開催される東海中学校総合体育大会の円滑な運営を図るため、大会に要する経費の一部を負担する。 (内容) 陸上競技他15競技
補助率・補助単価等	定額 (内容) 730千円 (理由) 中学校のスポーツ活動推進のため開催経費の一部補助が必要である。
補助効果	大会の開催は、生徒のニーズに応えるものであり、運動部活動を活性化し、県内中学生の健全育成とスポーツ振興を図ることができる。
終期の設定	終期令和10年度 (理由) 終期の定めがないため、事業を点検する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

全国大会の予選として位置付けられている東海中学校総合体育大会の経費を負担することにより、大会の円滑な運営ができる体制を整えるとともに、心身の健全育成に資する運動部活動の活性化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①開催種目数		4	4	4	4	100%
②						

補助金交付実績 (単位:千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	730千円	730千円	730千円	730千円	730千円

(これまでの取組内容と成果)

令和5年度	・第45回東海中学校総合体育大会の岐阜県開催種目として、卓球・陸上競技・ハンドボール・相撲の4種目の大会運営を実施し、大きな事故等なく終えることができた。
令和6年度	指標① 目標：4 実績：4 達成率：100%
令和7年度	・第46回東海中学校総合体育大会の岐阜県開催種目として、剣道・軟式野球・バドミントン・バレー・ボールの4種目の大会運営を実施し、大きな事故等なく終えることができた。
	指標① 目標：4 実績：4 達成率：100%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県教育委員会が主催となっている大会であり、全国大会の予選を兼ねる重要な大会として位置付けられており、本大会の運営費を支援することは欠かせない。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	鍛えてきた豊かな心とたくましい体で精一杯プレーすることで、仲間とともに感動や喜びを味わうことができる場となっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	令和2年度より各県毎年4種目ずつに割り振ることで、大会日程を組みやすくしたり、会場の重複を少なくしたりするなど、事業に係る負担軽減がなされている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 熱中症への対策が急務となっているため、熱中症対策費が増加傾向にある。また、空調施設のある会場を借りるため、今後、事業の経費が増大することが考えられる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 運動部活動に所属する中学生にとって大きな目標となる大会であることを勘案し、事業継続が必要。
